

第2章

ICCA統計、UIA統計

(ICCA、UIA基準による世界規模で見る国際会議の動向)

本章で使用する「ICCA国際会議統計」について	12
1. 大陸別 国際会議の開催状況	13
2. 国・地域別 国際会議の開催状況① (開催件数、平均外国人参加者数)	14
3. 国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	15
4. 都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	16
5. 都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	17
本章で使用する「UIA国際会議統計」について	18
6. 大陸別 国際会議の開催状況	19
7. 国・地域別 国際会議の開催状況① (開催件数、平均外国人参加者数)	20
8. 国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	21
9. 都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	22
10. 都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	23

本章で使用する「ICCA国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【ICCA国際会議統計の選定基準】

ICCAが公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議がICCA国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3カ国以上で会議のローテーションがある
(2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、随時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。

本節では、作成時における暫定値を掲載しています。そのため、同じ開催年でも過去の本統計資料に掲載された内容と数値が合致しないことがあります。

※ICCA国際会議統計では、参加者総数が50名未満または不明の会議でも、ICCA登録のある過去の同会議シリーズのいずれかの年の会議で50名以上の対面参加の実績が確認できれば、基準を満たす会議として登録される場合があります。

ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCAは、1963年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。約100カ国の1,000以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

1

大陸別 国際会議の開催状況

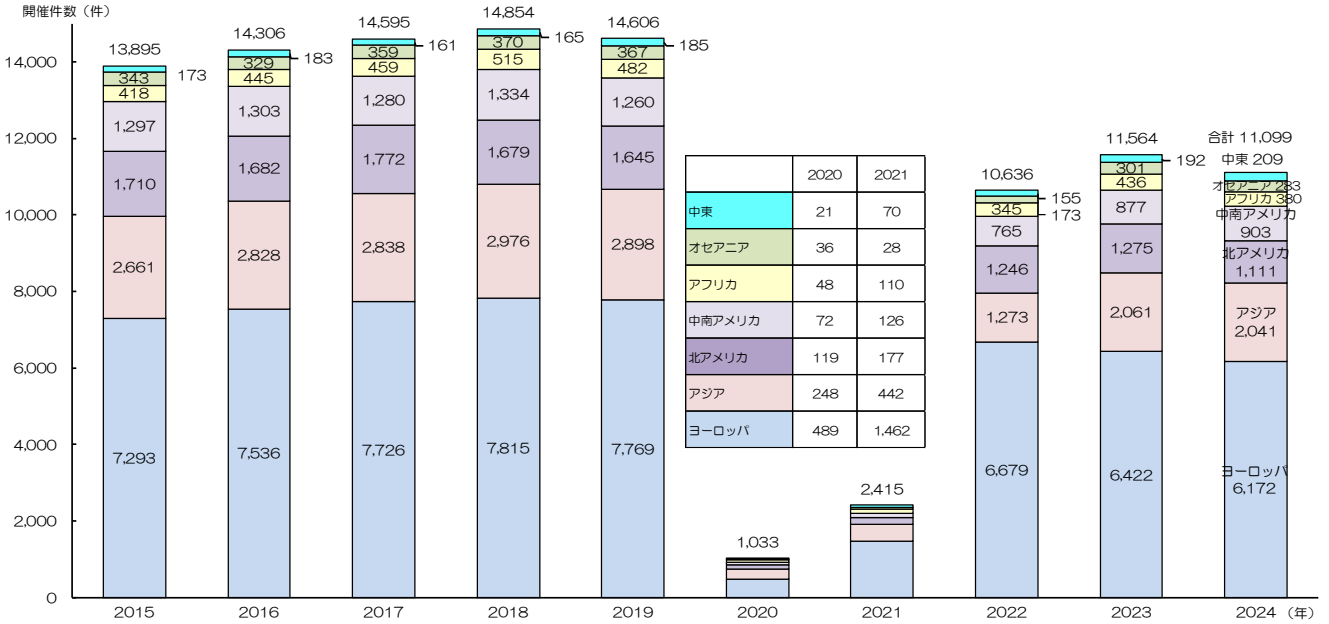
— 2019年以前の構成比に近づく中、中東は過去最高を記録 — 【ICCA国際会議統計】

ICCA統計による2024年の国際会議開催の件数は11,099件となり、前年との比較では微減となったものの、2019年の開催件数の76.0%まで回復した。

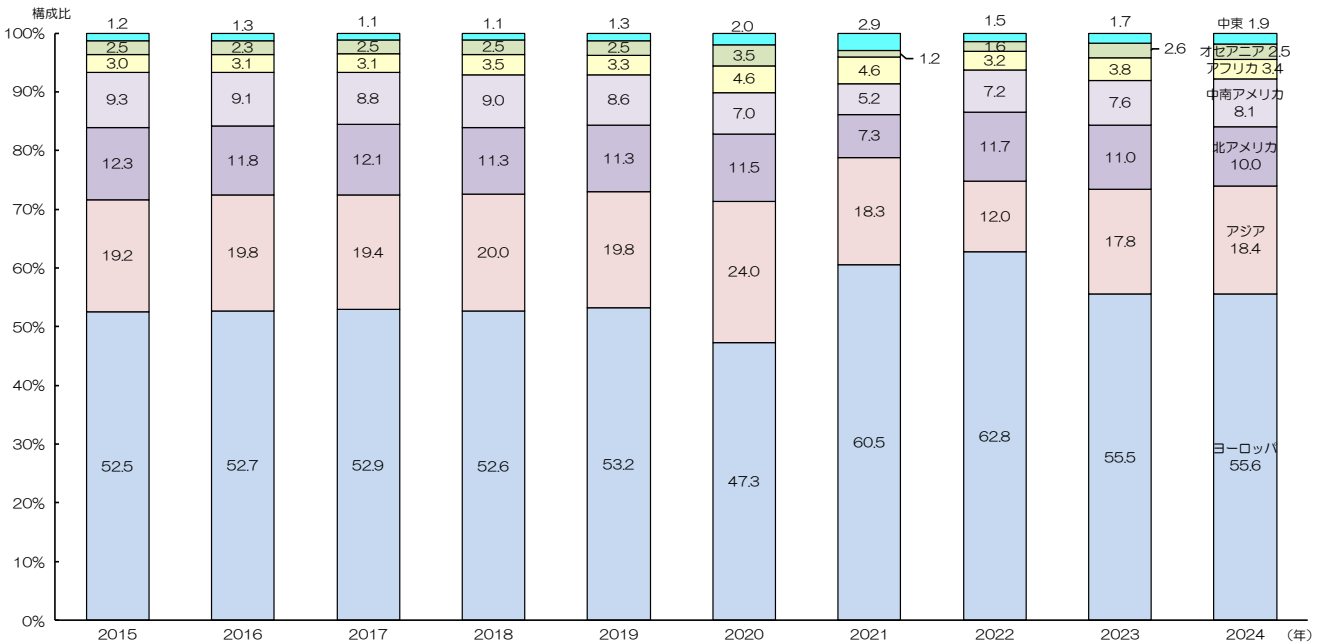
大陸別に見ると、1位ヨーロッパ(6,172件)、2位アジア(2,041件)、3位北アメリカ(1,111件)の順となっており、

引き続きヨーロッパが過半数以上の割合を占めている。特に、2023年以降、大陸別の構成比は2019年以前に近づつつあるが、その中でも、中東(209件)は開催件数としては大陸別の中で最も少ないものの、2019年比で113%と大陸別では唯一2019年の開催件数を上回り、過去最高を記録した。

図表2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2015年~2024年)



図表2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2015年~2024年)



出典：「ICCA Statistics Report (2015~2024)」

注：図表2-1、2-2の「アジア」には、ICCAの地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

注：2019年以降の開催件数はハイブリッド（対面とオンラインを併用した会議）開催件数を含む。

注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。

2

国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

— 日本は6位のフランスに4件差まで迫り7位に — 【ICCA国際会議統計】

ICCA統計による2024年の国際会議開催件数(上位20位)を国・地域別で見ると、1位米国(709件)、2位イタリア(635件)、3位スペイン(536件)、4位ドイツ(491件)、5位英国(481件)となり、上位3位は前年と同じ国・地域で

あった。アジア・オセアニア域内からは日本、中国、韓国、オーストラリアが上位20位以内にランクインした。日本は前年と同じ7位であったが、6位との差は前年の60件差から大きく縮まり、わずか4件差まで迫った。

図表2-3 国・地域別 国際会議の開催件数(世界全体)(2015年~2024年)〈2024年上位20位を抜粋〉

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
米国	1,162	1,125	1,113	1,115	1,051 (1)	75 (5)	113 (54)	812 (146)	820 (39)	709 (27)
イタリア	602	567	604	627	635	35 (10)	110 (52)	614 (81)	612 (21)	635 (29)
スペイン	576	605	632	662	645	43 (3)	133 (51)	631 (64)	568 (35)	536 (44)
ドイツ	704	789	778	739	803	59 (9)	126 (50)	575 (60)	543 (33)	491 (16)
英国	674	714	709	664	627	24 (0)	71 (28)	516 (86)	472 (30)	481 (23)
フランス	620	603	591	652	652	38 (5)	128 (47)	563 (55)	516 (23)	432 (18)
日本	442	500	470	531	558	34 (13)	74 (58)	251 (98)	389 (63)	428 (26)
オランダ	345	397	350	415	389	25 (2)	45 (21)	314 (43)	348 (28)	295 (9)
ポルトガル	287	322	314	339	360	18 (0)	75 (27)	324 (35)	318 (15)	290 (20)
カナダ	343	334	411	359	362	13 (1)	23 (14)	254 (42)	278 (18)	252 (13)
中国 (香港、マカオ除く)	482	553	497	544	572	33 (15)	137 (82)	131 (49)	237 (13)	249 (4)
韓国	323	314	335	319	271	44 (23)	73 (53)	190 (50)	276 (27)	243 (14)
ベルギー	255	241	245	304	274	22 (5)	84 (35)	288 (38)	241 (14)	238 (5)
スウェーデン	232	285	296	281	254	13 (3)	38 (14)	212 (31)	249 (8)	235 (7)
ブラジル	310	272	259	255	233	9 (0)	15 (3)	119 (12)	185 (7)	234 (7)
オーストリア	272	299	306	278	251	22 (4)	59 (28)	262 (30)	218 (7)	233 (9)
オーストラリア	277	240	282	292	290	26 (3)	24 (19)	138 (28)	239 (25)	227 (21)
ギリシャ	169	177	166	192	218	13 (2)	55 (21)	213 (31)	212 (12)	211 (2)
ポーランド	225	234	249	249	230	13 (2)	51 (31)	161 (21)	198 (7)	191 (10)
フィンランド	165	199	182	167	188	9 (1)	27 (15)	170 (12)	155 (8)	186 (14)

※2019年以降の下段の()内の数は「ハイブリッド」会議の件数(内数)

出典:「ICCA Statistics Report (2015~2024)」

注:ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

3

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

－ 日本が3年連続で域内首位、中国は2位に浮上 － 【ICCA国際会議統計】

ICCA 統計による2024年の国際会議開催件数（上位20位）をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、日本は428件で3年連続域内1位となった。以下、2位中国（249件）、3位韓国（243件）、4位オーストラリア（227件）、5位タイ（158件）となった。前年と比べると、各国・地域に

よって件数の増減が分かれる中、日本、中国、台湾などは件数を伸ばした。一方、韓国やオーストラリア、タイ、シンガポールは2021年以降、順調に開催件数を回復していたが、2024年は開催件数が前年より減少しており、前年4位の中国が2位にランクインする結果となった。

図表2-4 国・地域別 国際会議の開催件数（アジア・オセアニア域内）（2015年～2024年）〈2024年上位20位を抜粋〉

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
日本	442	500	470	531	558	34 (13)	74 (58)	251 (98)	389 (63)	428 (26)
中国 (香港、マカオ除く)	482	553	497	544	572	33 (15)	137 (82)	131 (49)	237 (13)	249 (4)
韓国	323	314	335	319	271	44 (23)	73 (53)	190 (50)	276 (27)	243 (14)
オーストラリア	277	240	282	292	290	26 (3)	24 (19)	138 (28)	239 (25)	227 (21)
タイ	173	194	186	218	183	18 (6)	10 (6)	93 (21)	174 (21)	158 (9)
シンガポール	161	165	166	165	157	8 (3)	29 (18)	112 (25)	158 (16)	144 (5)
インド	164	178	201	171	173	23 (2)	17 (9)	95 (19)	156 (9)	141 (2)
台湾	179	185	183	190	176	34 (19)	26 (18)	96 (45)	117 (14)	133 (12)
マレーシア	147	136	130	152	156	10 (3)	6 (4)	74 (22)	122 (6)	129 (2)
インドネシア	101	126	118	144	109	8 (2)	10 (6)	54 (11)	87 (5)	98 (4)
香港	141	124	147	153	99	7 (4)	15 (10)	20 (12)	68 (2)	86 (1)
ベトナム	57	66	79	67	96	8 (2)	6 (0)	39 (4)	68 (4)	60 (4)
ニュージーランド	54	75	60	71	65	10 (1)	4 (4)	31 (6)	57 (7)	51 (1)
フィリピン	80	77	76	79	73	4 (0)	6 (2)	17 (3)	65 (7)	44 (1)
マカオ	27	36	40	39	55	3 (2)	4 (3)	5 (4)	23 (4)	33 (2)
スリランカ	24	27	24	24	22	2 (0)	5 (5)	2 (1)	6 (0)	15 (1)
ネパール	14	13	20	17	21	1 (0)	3 (2)	4 (1)	17 (0)	11 (1)
パキスタン	4	4	6	5	13	0 (0)	2 (1)	6 (2)	2 (0)	10 (0)
バングラデシュ	9	9	6	12	20	1 (0)	1 (1)	10 (2)	9 (1)	8 (1)
ウズベキスタン	2	2	3	5	6	0 (0)	1 (0)	2 (1)	5 (1)	7 (0)

※2020年以降の下段の（）内の数は「ハイブリッド」会議の件数（内数）

出典：「ICCA Statistics Report (2015～2024)」

注：図表2-4で取り上げた「アジア」の領域は、ICCAの地域別区分による。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

4

都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

— 欧州諸都市が上位を占める中、アジアから5都市がランクイン — 【ICCA国際会議統計】

ICCA 統計による2024年の国際会議開催件数を都市別で見ると、1位ウィーン(154件)、2位リスボン(153件)、3位シンガポール(144件)となった。前年1位のパリ(124件)は順位を6位に落とした。アジアからはシンガポールをはじめ、ソウル(124件)、バンコク(115件)、東京(97件)、香港(86件)が上位20位以内にランクインした。シンガポールと東京は前年から大きく順位は変わっていない一方で、ソウルは前年10位からランクアップし、パリと同率の6位、バンコクは前年15位から7位となった他、前年の本統計公表時点では33位であった香港は20位に浮上した。

図表2-5 都市別 国際会議の開催件数(世界全体)(2015年~2024年) <2024年上位20位を抜粋>

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ウィーン	178	200	209	199	163	12 (2)	40 (21)	177 (24)	152 (4)	154 (7)
リスボン	147	155	159	162	194	10 (0)	38 (21)	151 (21)	157 (10)	153 (13)
シンガポール	161	165	166	165	156	8 (3)	29 (18)	112 (25)	158 (16)	144 (5)
バルセロナ	184	195	211	181	171	10 (1)	32 (14)	159 (16)	150 (12)	142 (15)
ブラハ	138	142	172	157	150	12 (2)	24 (16)	147 (16)	139 (5)	131 (19)
パリ	219	213	228	235	253	17 (0)	32 (11)	162 (25)	180 (10)	124 (4)
ソウル	145	152	167	145	128	16 (10)	18 (13)	80 (17)	114 (14)	124 (7)
バンコク	118	128	126	151	139	11 (3)	8 (6)	55 (15)	112 (9)	115 (5)
ローマ	115	120	118	114	124	5 (1)	25 (13)	107 (15)	129 (4)	114 (13)
アテネ	85	82	85	104	117	12 (1)	36 (14)	121 (20)	98 (8)	111 (0)
ロンドン	201	184	222	184	168	7 (0)	19 (5)	134 (29)	121 (10)	105 (11)
マドリード	138	146	150	172	165	11 (2)	35 (16)	144 (22)	122 (5)	105 (6)
コペンハーゲン	151	137	143	145	134	8 (0)	32 (10)	125 (21)	107 (9)	101 (3)
ブリュッセル	129	113	102	134	105	13 (3)	52 (17)	146 (24)	104 (4)	100 (4)
ミラノ	111	72	78	77	83	7 (1)	13 (5)	73 (17)	69 (3)	100 (4)
東京	114	128	121	134	147	6 (1)	15 (14)	44 (21)	109 (11)	97 (5)
アムステルダム	115	154	124	148	131	10 (0)	16 (8)	97 (14)	105 (12)	94 (1)
ブエノスアイレス	91	107	127	141	130	3 (0)	7 (4)	68 (13)	86 (6)	91 (2)
ブダペスト	107	115	135	116	98	6 (0)	23 (7)	77 (7)	73 (5)	87 (4)
ダブリン	94	121	124	103	118	7 (0)	8 (3)	112 (14)	108 (5)	86 (7)
香港	138	122	146	152	93	7 (4)	15 (10)	20 (12)	68 (2)	86 (1)
イスタンブール	161	57	28	42	68	5 (1)	13 (4)	70 (13)	90 (4)	86 (2)

※2020年以降の下段の()内の数は「ハイブリッド」会議の件数(内数)

出典: 「ICCA Statistics Report (2015~2024)」

注: ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

5

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

ー 日本からは東京、京都、大阪の3都市が上位20位にランクイン ー 【ICCA国際会議統計】

ICCA 統計による2024年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、シンガポール（144件）が前年から開催件数を減らしたものの、1位を維持した。続いて、2位ソウル（124件）、3位バンコク（115件）となり、東京は97件で4位となった。また、日本からは東京の他、京都（49

件）と大阪（27件）が上位20位内にランクインした。また、上位20位の都市における前年からの件数の増加率では、大阪が92.9%増と特に高く、次いでニューデリーが56.0%増、上海が52.0%増であった。

図表2-6 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2015年~2024年) (2024年上位20位を抜粋)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
シンガポール	161	165	166	165	156	8 (3)	29 (18)	112 (25)	158 (16)	144 (5)
ソウル	145	152	167	145	128	16 (10)	18 (13)	80 (17)	114 (14)	124 (7)
バンコク	118	128	126	151	139	11 (3)	8 (6)	55 (15)	112 (9)	115 (5)
東京	114	128	121	134	147	6 (1)	15 (14)	44 (21)	109 (11)	97 (5)
香港	138	122	146	152	93	7 (4)	15 (10)	20 (12)	68 (2)	86 (1)
クアラルンプール	87	74	78	80	102	4 (2)	4 (2)	38 (14)	62 (3)	78 (1)
台北	123	107	106	110	111	22 (13)	17 (13)	60 (27)	73 (9)	78 (7)
シドニー	89	62	82	94	91	7 (0)	1 (1)	38 (14)	69 (12)	63 (6)
メルボルン	52	63	65	73	60	10 (3)	4 (3)	36 (4)	55 (6)	62 (6)
パリ	25	30	38	40	36	3 (0)	2 (2)	28 (8)	37 (3)	54 (0)
京都	58	63	50	60	62	1 (0)	9 (8)	29 (18)	41 (9)	49 (4)
ニューデリー	44	50	60	42	42	2 (0)	1 (0)	26 (0)	25 (0)	39 (0)
上海	78	109	89	94	96	2 (0)	22 (13)	18 (9)	25 (2)	38 (1)
北京	124	151	104	122	99	4 (0)	15 (7)	24 (7)	35 (2)	33 (0)
マカオ	27	36	40	39	55	3 (2)	4 (3)	5 (4)	23 (4)	33 (2)
釜山	33	32	31	37	31	6 (2)	8 (8)	19 (6)	26 (2)	28 (0)
マニラ	59	52	55	55	52	2 (0)	1 (0)	10 (0)	40 (0)	28 (0)
ブリスベン	33	40	30	34	43	3 (0)	5 (5)	15 (3)	33 (4)	27 (3)
大阪	18	31	18	17	22	0 (0)	0 (0)	4 (0)	14 (0)	27 (0)
済州	47	40	49	47	25	7 (4)	25 (16)	32 (11)	36 (1)	26 (1)

※2020年以降の下段の（）内の数は「ハイブリッド」会議の件数（内数）

出典：「ICCA Statistics Report (2015~2024)」

注：図表2-6で取り上げた「アジア」の領域は、ICCAの地域別区分による。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

本章で使用する「UIA国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【UIA国際会議統計の選定基準】 ※以下は UIA が公表している統計のうちタイプ A とタイプ B の会議の選定基準となります。

UIAが公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議がUIA国際会議統計に反映されます。

(1) 国際機関・国際団体（UIAに登録されている機関・団体）の本部が主催又は後援した会議

- ① 参加国数 開催国を含む3ヶ国以上
- ② 開催期間1日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIAが判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1)に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

(2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議

- ①参加者数300名以上（うち40%以上が主催国以外の参加者）
- ②参加国数 開催国を含む5ヶ国以上
- ③開催期間3日以上

※なお、2024年UIA発表「International Meeting Statistics」には(1)に該当するタイプAの会議のみを計上している。

UIAでは、当該年の国際会議統計の発表後も、随時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」であるとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIAが各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIAは、1907年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。7万を超える組織団体等に関する情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年6月に発表している。

6

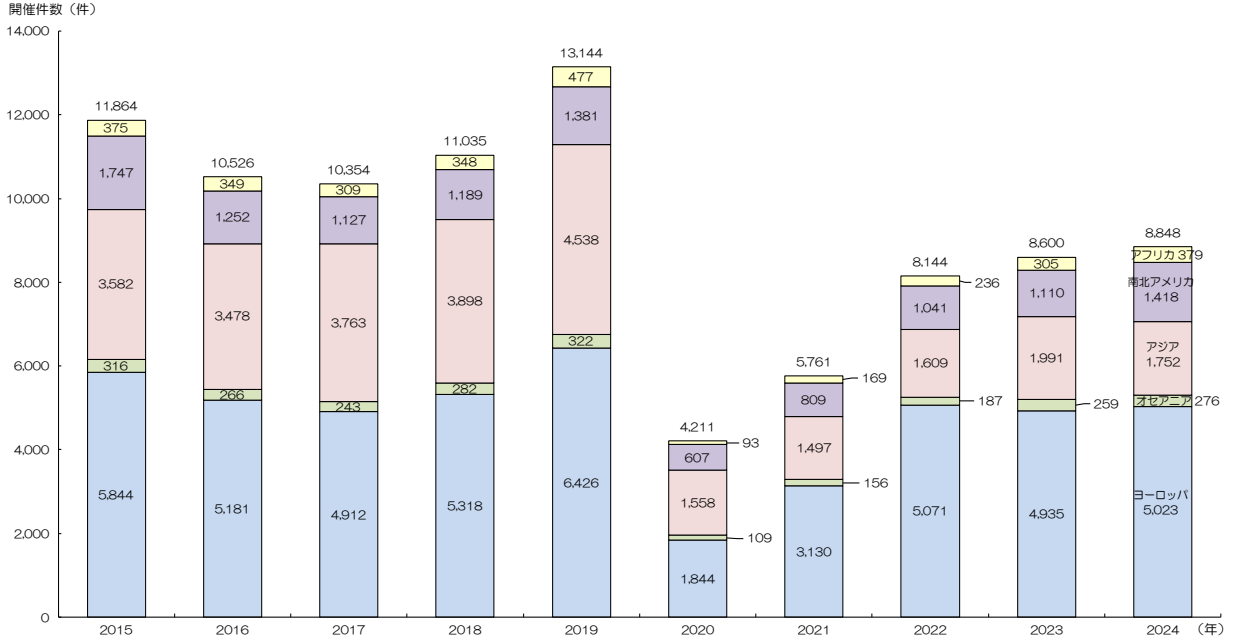
大陸別 国際会議の開催状況

ー 全体の開催件数は増加するも、アジアは伸び悩む ー 【UIA国際会議統計】

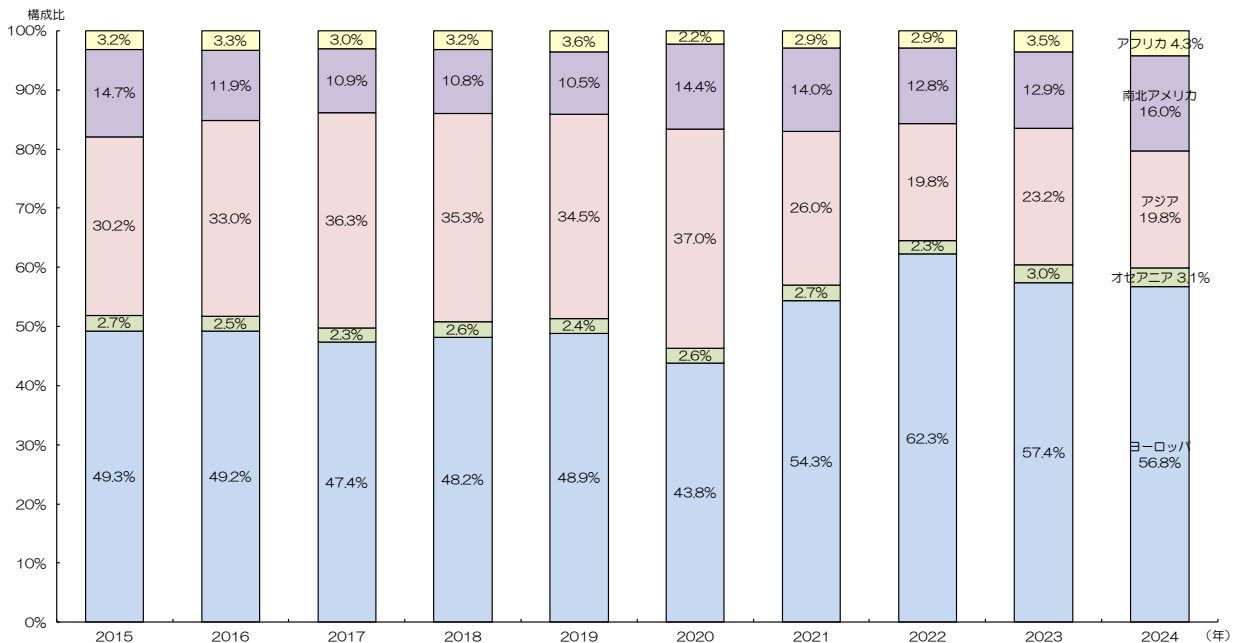
UIA統計による2024年の国際会議開催件数（オンラインやハイブリッドを含む）は前年比248件増の8,848件となり、2019年の開催件数の67.3%まで回復した。大陸別に見ると、1位ヨーロッパ（5,023件）、2位アジア（1,752件）、3位南北アメリカ（1,418件）の順であった。南北アメリカ、アフリ

カにおいては開催件数の増加率が特に高い一方、アジアは前年比で減と伸び悩み、2019年との比較では約4割に留まっている。開催件数の構成比は、ヨーロッパが引き続き過半数以上の割合を占めており、2019年以前と比べても高い割合を維持している。

図表2-7 大陸別 国際会議の開催件数（2015年～2024年）



図表2-8 大陸別 国際会議の開催件数 構成比（2015年～2024年）



注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」及びUIAの地域別区分に基づきJNTOが算出した。

注：2023年以降はUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプAの会議の件数のみを掲載している。

注：図表2-7、2-8の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：上記の数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。

注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。

7

国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

— 日本の開催件数は上位を維持し、世界第5位に — 【UIA国際会議統計】

UIA統計による2024年の国際会議開催件数（上位20位）を国・地域別で見ると、前年2位の米国（657件）が1位となり、ベルギー（523件）は2位に後退、3位は前年10位のイタリア（452件）が大きく順位を上げた。日本は前年4位から僅かに

順位を下げ5位。上位10カ国のうち日本を含む7カ国で前年より開催件数が減少した一方、米国は前年とほぼ同水準の件数で1位となっている。また、ブラジルは前年比346.2%増、イタリアは前年比44.9%増と大きく件数を伸ばした。

図表2-9 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2015年～2024年）〈2024年上位20位を抜粋〉

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
米国	929	702	575	616	750	438	512	583	633	657
ベルギー	737	953	810	857	1,094	338	385	648	709	523
イタリア	385	183	163	236	268	62	176	265	312	452
スペイン	480	423	440	456	531	96	174	462	462	451
日本	634	523	523	597	719	225	408	399	493	369
韓国	891	997	1,297	890	1,113	256	473	326	423	343
オーストリア	383	404	591	488	417	135	228	317	367	312
英国	354	266	307	333	418	186	232	329	322	311
ドイツ	472	390	374	305	418	162	223	265	285	309
フランス	590	523	422	465	665	141	273	348	314	295
ポルトガル	204	189	181	187	258	49	150	464	375	236
ブラジル	106	72	54	44	44	46	63	53	52	232
オーストラリア	253	197	183	222	247	86	125	146	211	219
カナダ	285	165	242	262	265	73	134	202	188	206
フィンランド	156	166	151	174	314	43	127	213	172	203
オランダ	340	332	218	286	316	103	147	211	224	196
スウェーデン	129	152	152	165	201	50	82	123	155	183
スイス	258	234	228	210	249	137	168	234	146	170
ノルウェー	164	135	132	191	243	36	107	213	164	168
アラブ首長国連邦	157	185	197	170	180	48	80	132	206	156

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：2023年以降はUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプAの会議の件数のみを掲載している。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

8

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は前年より開催件数を減らすも、3年連続で域内首位 — 【UIA国際会議統計】

UIA統計による2024年の国際会議開催件数(上位20位)をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1位日本(369件)、2位韓国(343件)、3位オーストラリア(219件)と、トップ3の順位は前年に引き続き同じであった。日本や韓国、アラブ首長国連邦(156件)、タイ(88件)では開

催件数が大きく減少した一方、中国(131件)、マレーシア(125件)、香港(51件)は前年の開催件数を上回った。マレーシアや香港、カタール等では、2019年の水準を超える開催件数となった。

図表2-10 国・地域別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2015年~2024年)〈2024年上位20位を抜粋〉

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
日本	634	523	523	597	719	225	408	399	493	369
韓国	891	997	1,297	890	1,113	256	473	326	423	343
オーストラリア	253	197	183	222	247	86	125	146	211	219
アラブ首長国連邦	157	185	197	170	180	48	80	132	206	156
中国 (香港、マカオ除く)	144	131	108	132	193	39	74	77	100	131
マレーシア	204	98	90	172	86	18	45	99	94	125
タイ	300	279	312	185	345	32	62	90	160	88
インド	88	72	71	80	87	24	37	53	90	77
シンガポール	736	888	877	1,238	1,205	780	134	208	90	61
インドネシア	71	54	40	70	104	11	29	31	65	56
台湾	43	32	30	32	55	20	34	51	48	51
香港	49	67	39	38	42	10	16	25	27	51
ニュージーランド	35	47	37	39	54	16	22	31	38	37
フィリピン	49	26	34	59	64	20	19	16	39	36
ベトナム	26	10	15	39	61	9	15	13	15	25
サウジアラビア	7	2	9	10	13	18	2	14	17	18
カタール	18	14	9	8	9	3	12	12	19	15
ヨルダン	-	-	-	17	10	2	4	6	8	14
ウズベキスタン	1	-	1	3	5	-	1	3	9	10
ネパール	15	10	10	10	6	1	11	4	11	9
スリランカ	8	19	12	9	8	-	-	1	4	9
マカオ	7	-	4	4	8	12	-	2	4	9

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：2023年以降はUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプAの会議の件数のみを掲載している。

注：上記の数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

9

都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

ー ソウルが3位にランクイン、日本からは東京が5位に ー【UIA国際会議統計】

UIA統計による2024年の国際会議開催件数(上位20位)を都市別で見ると、1位ブリュッセル(388件)、2位ウィーン(239件)、3位ソウル(180件)、4位バルセロナ(159件)、5位が東京(148件)となった。ソウルは前年5位から順位を上げトップ3入りした一方、東京は5位と前年の4位から

僅かに順位を下げた。ブリュッセルや東京、リスボンでは開催件数が大幅に減少した一方、ローマ(142件)は約2倍と大きく増加した。2019年と比べると、上位20位内の都市で2019年の開催件数を上回ったのはローマとドバイのみであった。

図表2-11 都市別 国際会議の開催件数(世界全体)(2015年~2024年)〈2024年上位20位を抜粋〉

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ブリュッセル	665	906	763	734	963	290	319	570	620	388
ウィーン	308	304	515	404	325	109	195	255	298	239
ソウル	494	526	688	439	609	150	265	136	200	180
バルセロナ	187	182	193	152	160	44	67	147	115	159
東京	249	225	269	325	305	122	258	201	226	148
ローマ	113	42	41	49	58	15	51	44	75	142
リスボン	147	142	135	146	204	20	94	336	294	140
マドリード	140	159	159	201	215	22	37	154	116	113
パリ	362	342	268	260	405	61	153	130	124	110
ドバイ	128	158	120	111	84	30	67	73	114	109
モントリオール	108	71	146	106	127	41	66	91	69	103
ストックホルム	87	112	113	119	137	28	45	57	96	101
コペンハーゲン	117	111	131	130	112	25	56	68	59	97
ヘルシンキ	90	121	108	128	187	24	55	116	83	90
ロンドン	126	98	166	186	217	101	101	148	139	89
ジュネーブ	172	162	158	145	173	77	87	166	67	82
シドニー	107	72	76	109	103	26	27	34	93	82
アムステルダム	125	155	98	98	123	39	47	47	76	80
オスロ	79	59	59	92	104	14	39	89	68	75
ベルリン	215	197	198	131	192	43	41	70	70	72

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：2023年以降はUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプAの会議の件数のみを掲載している。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

10

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 東京・大阪は順位を下げ、京都は前年と同順位を維持 — 【UIA国際会議統計】

UIA統計による2024年の国際会議開催件数（上位20位）をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、前年2位のソウルが180件で1位となり、前年1位の東京は前年から80件近く件数を減らし、148件で2位、3位はドバイ（109件）となった。

上位20位の多くの都市で開催件数が減少傾向にある中、クアラルンプール（71件）、香港（49件）はそれぞれ前年から大幅に増加した。日本からは東京の他に京都（34件）と大阪（21件）が上位20位にランクインした。

図表2-12 都市別 国際会議の開催件数（アジア・オセアニア域内）（2015年～2024年）〈2024年上位20位を抜粋〉

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
ソウル	494	526	688	439	609	150	265	136	200	180
東京	249	225	269	325	305	122	258	201	226	148
ドバイ	128	158	120	111	84	30	67	73	114	109
シドニー	107	72	76	109	103	26	27	34	94	82
クアラルンプール	140	60	54	96	50	14	26	59	49	71
バンコク	242	211	232	121	293	22	47	59	109	65
シンガポール	736	888	877	1238	1205	780	134	208	90	61
香港	49	67	39	38	42	10	10	20	27	49
釜山	150	152	212	131	160	25	44	33	43	44
アブダビ	24	24	75	56	92	17	13	58	85	44
メルボルン	46	36	31	31	42	16	17	40	26	39
京都	56	53	36	58	81	16	27	32	40	34
仁川	19	53	66	70	56	14	52	38	36	32
台北	35	25	21	22	41	11	26	39	21	31
パリ	30	35	14	18	37	1	10	17	48	29
北京	42	56	30	45	45	10	19	21	19	24
ブリスベン	20	17	23	23	28	5	23	17	26	24
済州	112	116	139	76	96	17	26	33	47	22
大阪	33	23	6	13	25	6	5	11	24	21
マニラ	35	15	23	38	35	14	14	9	20	20

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：2023年以降はUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプAの会議の件数のみを掲載している。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。